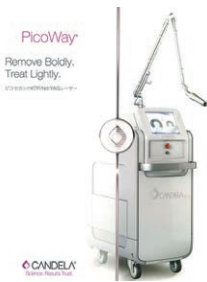


高度な診療体制・医療機器を整え、 地域医療に質の高い治療水準で貢献



24年7月に全館・全病室に冷房完備。患者さん向けにセキュリティの高いFree-WiFiも提供

PicoWay(ピコウェイ)：
皮膚へのダメージを最小限に抑え、従来の保険診療だけでなく【美容】にも対応し、しみ取り・トーンアップなどの処置も可能



マンモグラフィー：
画像識別ソフト「コニカミノルタMGCAD-i」を導入。高度なAI技術により、乳がんの早期発見に貢献



理事長・院長
館山 美樹

1982年北里大学医学部卒業後、北大第3内科入局。道内主要病院勤務を経て1995年苫小牧日翔病院勤務。2005年同院副院長。2015年4月同院院長。2016年4月医療法人社団養生館理事長に就任。

開院以来、時代に適応し進化を続け東胆振・日高圏域の医療体制に不可欠な存在となつてきている苫小牧日翔病院。環境の変化にも素早く柔軟に対応してきた。

苫小牧市においても近年は高温・多湿が数カ月継続することを踏まえ、2024年に病室の改修工事と併せて市内でいち早く全ての病室に個別設定のエアコン設置を完了し患者さんの入院生活がすこしでも快適になるよう配慮している。

医療機器は1.5テスラMRI、64列CT、血管造影装置治療機器など多く有し、更新・拡充投資にも積極的に取り組んできた。同年10月には皮膚レーザーを更新。極めて短い時間でレーザー治療で皮膚へのダメージを最小限に抑え低侵襲でより安全に効果的な治療が可能となった。加えて皮膚レーザーでは美容的なしみ取り

り・トーンアップも可能になった。

また翌年3月にはマンモグラフィー更新と同時にAI画像読影システムを導入、AI技術で乳癌の早期発見に寄与。従来より電子カルテを始めHIS(病院情報システム)の充実にも余念がなく画像共有システムは地域で最初に導入。診療情報を各部門で正確・迅速に共有することが可能となっている。

道内3番目の患者数を誇る透析センターは透析指導医・専門医ら担当医4名体制で透析医療を展開。各診療科の専門医の支援を得られる体制を整え透析医療の基幹病院となっている。

館山美樹理事長は「人材の強化と、最新の医療機器の更新を続ける事で、都市部格差をなくし、この地域で全国標準以上の医療を受けられるよう努めたい」と話す。

医療法人社団養生館 **苫小牧日翔病院**

☎(0144)72-7000

☑ 苫小牧市矢代町2丁目9番13号

←ホームページはこちらから



外科・内科・消化器内科・循環器内科・腫瘍内科・整形外科・脳神経外科・形成外科・リウマチ科・リハビリテーション科・麻酔科・透析センター

受付時間／
月～金曜／8:30～11:30 12:00～16:30
土曜／8:30～11:30

※24時間救急対応可能
診察時間や担当医は当日変更になる場合がございます。詳細は当日お電話(0144)72-7000にてお気軽にお問い合わせください。

休診日／日・祝日・年末年始
8/1(開院記念日)・8/16(お盆休み)

